

秋田県立金足農業高等学校 創立九十周年記念事業全体計画

本校は、昭和三年に秋田県中央地区の産業教育（主に農業）を担う高校として創立され、平成三十年に創立九十周年を迎えます。

この間、二万名を超える卒業生（平成二十九年三月卒業で総数二二、七二一名）を輩出。卒業生の多くは県内に定着し、本県産業の中核を担う人材の育成に貢献しています。卒業生の多くは、学校創立九十周年にあたり、本校が今後とも秋田県の農業教育の中心校としての期待を背負いつつ、県民や地域の信頼に応える学校づくりを推進します。

一 創立九十周年記念事業の意義・目的

- 1 本校の歩を振り返り、創立の意義と使命を確認し、創立百周年に向け、今後より良い伝統を築くとともに、明日への発展を願う「場」とします。
- 2 生徒は、記念行事を通して人間形成を図るとともに、より良い伝統を自ら築き上げようとする態度を養います。
- 3 農業教育の充実とスポーツ金農として、文武両道を実践しながら、更なる発展と充実の礎を築きます。
- 4 歴史と伝統ある学校づくりのため、将来を見据えた環境整備を行います。

二 創立九十周年記念事業の概要

1 募金活動事業

目標募金額を二千万円として募金活動を行います。募金期間は、平成二十九年五月～平成三十年三月です。募金活動を機会に、同窓会の組織の活性化と充実を目指します。

2 学校教育・部活動充実事業

部活動の強化・充実を主体としながら、教育活動全般の発展・充実の基金を創設します。農業教育の充実とスポーツ金農として、文武両道を実践できる環境づくりを行います。

3 桜植樹・めぐり交流館周辺整備事業

本校の教育環境の象徴であった桜並木が、老木化や病気のため、現在、更新を要する状況にあります。将来を見据え、桜並木の復活のため植樹を行います。また、創立八十周年記念事業で整備された「めぐり交流館」については、本校の教育活動を発信するため、有効に利用させていただいては、今後、更なる活用を実践するために、めぐり交流館および周辺の環境整備を行います。

4 招待試合事業

「スポーツ金農」の振興と、運動部強化を目的に行います。本事業では、金農生として真摯な態度で試合を観戦・応援します。互いを励まし合う気持ちを育み、より良い伝統を自ら築き上げようとする態度を養います。

硬式野球、ラグビー、ボクシング、バドミントン、女子バスケットボールの招待試合を行います。

5 国際交流事業

海外での農業研修等を通して、国内外の食料生産の改善に関する意識や視点を養います。また、本校の使命として掲げた、本県の農業を基盤とし農業や関連産業に関わるスペシャリストとして地域社会に貢献できる人材を育成します。本事業では、ニュージールランドに十二名の生徒を派遣し、農業体験とフームステイ、エコツアー、異文化体験等を行います。

6 記念誌事業

創立八十周年（平成二十年）から創立九十周年（平成三十年）の十年間の記録や史実をまとめ掲載します。国内外で活躍しているOBの対談を掲載します。

7 記念式典事業

生徒が本校の歩みを振り返り、本校創立の意義と使命を理解し、明日への発展と次の時代を背負う健全な生徒の育成の「場」とします。生徒の人間形成を図るとともに、より良い伝統を自ら築き上げようとする態度を養います。

・記念式典は、平成三十年十一月二日（金）十二時より、本校第一体育館で開催します。

・記念講演は、平成三十年十一月二日（金）十三時十五分より、本校第一体育館で開催します。

8 記念祝賀会事業

特色ある学校づくりや地域に開かれた学校づくりの一環として捉え、本校の教育活動の成果を、地域社会や保護者、関係機関、同窓会等に披露する「場」として位置付け、学校の活性化を図ります。

・記念祝賀会は、平成三十年十一月二日（金）十六時より、秋田ビューホテルで開催します。

9 歴史資料館

歴史資料等の収集・保存・展示をおこない、歴史資料や実物などを通して在校生に本校の歴史を伝え、資料館を充実させます。

